

第3章 平成27年度事業計画及び 収支予算

第1節 事業計画

第2節 平成27年度収支予算

- 1 収支予算書
- 2 収支予算書内訳表
- 3 予定貸借対照表

第3章 平成27年度事業計画及び収支予算

第1節 事業計画

1 はじめに

当社は、三重県流域下水道施設の指定管理者として、より一層適切な運転管理に努めるとともに、効率的な事業運営と安定した経営の基盤を確立することにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化に対応できる公社を目指していきたいと考えております。

【主な取り組みの基本方針】

- (1) 放流水質規制基準値の遵守による公共用水域の水質保全
- (2) 設備・機器の計画的な点検、修繕、更新による施設の適正管理
- (3) 創意工夫による効果的、効率的な運転管理による管理コストの削減
- (4) 関係機関との連携による危機管理の強化
- (5) 行政機関への支援
- (6) 下水道事業の普及啓発、調査研究事業の推進

2 事業計画

(1) 流域下水道施設等の維持管理及び汚泥処理事業

北勢沿岸流域下水道北部処理区、南部処理区、中勢沿岸流域下水道雲出川左岸処理区、松阪処理区、宮川流域下水道宮川処理区における流域下水道施設（浄化センター及びポンプ場）の維持管理を行うとともに、各処理区から発生する汚泥の処理を行います。

ア 予想流入水量及び汚泥発生量

		平成26年度	平成27年度	増減	
北部 浄化センター	流入水量	34,010,000 m ³	34,706,000 m ³	696,000 m ³	102.0%
	汚泥発生量	21,530 t	21,100 t	△ 430 t	98.0%
南部 浄化センター	流入水量	14,041,000 m ³	14,215,000 m ³	174,000 m ³	101.2%
	汚泥発生量	9,364 t	9,330 t	△ 34 t	99.6%
雲出川左岸 浄化センター	流入水量	10,611,000 m ³	8,849,000 m ³	△1,762,000 m ³	83.4%
	汚泥発生量	6,535 t	6,070 t	△ 465 t	92.9%
松阪 浄化センター	流入水量	10,118,000 m ³	10,130,000 m ³	12,000 m ³	100.1%
	汚泥発生量	8,000 t	7,800 t	△ 200 t	97.5%
宮川 浄化センター	流入水量	6,711,000 m ³	7,164,000 m ³	453,000 m ³	106.8%
	汚泥発生量	5,152 t	5,500 t	348 t	106.8%
計		75,491,000 m ³	75,064,000 m ³	△ 427,000 m ³	99.4%
		50,581 t	49,800 t	△ 781 t	98.5%

イ 各浄化センターにおける放流水質は、法令に基づく規制値よりも低い目標放流水質

を設定し、良好な放流水質の維持に努めます。また、汚泥含水率についても、脱水機の標準性能より低い含水率を設定し、汚泥発生量の低減を図ります。

		BOD	COD	SS	T-N	T-P	汚泥含水率
北部 浄化センター	規制値	15	20	40	13	1.4	78.0%
	目標放流水質	14	18	20	12	1.3	76.0%以下
南部 浄化センター	規制値	10	20	10	10	2.2	78.0%
	目標放流水質	9	18	9	9	2.0	76.0%以下
雲出川左岸 浄化センター	規制値	15	100	40	18	1.6	80.0%
	目標放流水質	14	18	20	17	1.5	78.0%以下
松阪 浄化センター	規制値	15	100	40	10	1	77.0%
	目標放流水質	14	18	20	9.5	0.9	75.0%以下
宮川 浄化センター	規制値	15	-	40	10	1	77.0%
	目標放流水質	14	18	20	9.5	0.9	75.0%以下

【汚泥含水率】 上段：標準性能、下段：目標値

ウ 各施設及び設備の適正な管理を行うため、設備機器の計画的な点検・修繕を下記のとおり行います。

【北部浄化センター】

施設及び設備設置場所		機器名
スクリーンポンプ棟	スクリーン設備	No.02・04 細目除塵機
	ポンプ設備	No.22 主ポンプ・電動機
送風機棟	送風機設備	No.31 インレット弁・電油操作弁
水処理設備	最初沈殿池	A4 系最初沈殿池掻き寄せ機・スカムスキマー A3 系空気圧縮装置
	その他水処理設備	初沈No.1 空気源装置、A4 系消泡水ポンプ No.31・41 オートストレーナ、A41・42 返送汚泥ポンプ A2・3 系終沈池排水ポンプ A2・3 系終沈スカム移送ポンプ
	生物反応槽	A3・4 系反応槽循環ポンプ、A4 系反応槽風量調節弁
	滅菌設備	B 系塩素混和池No.11・12 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ
機械濃縮棟	機械濃縮設備	No.11 破砕機、No.10 汚泥供給ポンプ No.12 機械濃縮浮上装置 No.12 脱気槽攪拌機・混合装置・起泡装置 濃縮汚泥貯留槽No.13・14 攪拌機 No.12 濃縮汚泥移送ポンプ、脱臭ファン
汚泥脱水機棟	汚泥脱水設備	No.13・16 脱水機、No.11・12 返流水ポンプ
土壌脱臭設備		A1～A5 系脱臭ファン
北勢幹線マンホールポンプ場		予備発電機

【南部浄化センター】

施設及び設備設置場所		機器名
水処理設備	生物反応槽	Ⅲ系反応槽No.51～58 水中攪拌機 No.2 全量投入可動堰
機械濃縮棟	機械濃縮設備	No.1～3 余剰汚泥貯留槽攪拌機、No.3 浮上濃縮装置 No.1～3 濃縮汚泥貯留槽攪拌機 No.1～3 凝集剤注入ポンプ、No.0～3 起泡助剤注入ポンプ
汚泥脱水機棟	汚泥脱水設備	No.1 脱水機

【雲出川左岸浄化センター】

施設及び設備設置場所		機器名
流入ポンプ棟	ポンプ設備	2号流入ポンプ
水処理設備	生物反応槽	2系2-1 水中攪拌機
汚泥処理棟	汚泥脱水設備	脱水機、汚泥搬出コンベア
香良洲中継ポンプ場		3号汚水中継ポンプ

【松阪浄化センター】

施設及び設備設置場所		機器名
ブロワー棟	ブロワー設備	No.4 送風機
水処理設備	生物反応槽	1系No.1～3 硝化循環ポンプ
	最終沈殿池	No.4～5 返送汚泥ポンプ
放流ポンプ棟	放流ポンプ施設	No.2 放流ポンプ
汚泥処理棟	汚泥脱水設備	No.1 貯留汚泥ポンプ
中川ポンプ場		予備発電設備

【宮川浄化センター】

施設及び設備設置場所		機器名
スクリーンポンプ棟	ポンプ設備	No.1～2 主ポンプ
第1砂ろ過棟	砂ろ過設備	1系No.1～2 原水ポンプ、1系No.2 洗浄用空気圧縮機
水処理施設	水処理設備	2池反応槽水中攪拌機分解整備工事

(2) 普及啓発施設の維持管理事業

中勢沿岸流域下水道松阪処理区における普及啓発施設（高須町公園オートキャンプ場及び高須町公園）の維持管理業務を行います。

(3) 下水道知識の普及啓発事業

ア 次世代を担う児童を対象に下水道が果たす役割や意義の認識を深めるため、県内の小学生から下水道に関する創作作品を募集し、広報活動に活用します。

- イ 県内の小学校を訪問し、下水道の役割や意義について、実験を中心とした体験学習型の授業である出前教室を開催します。
- ウ 県及び市町の下水道行政を支援するため、年間を通じた浄化センター施設の見学会を通じて、広く県民に下水道の役割や意義、成果などを広報資料や展示物を用いて、PRします。
- エ 公社の事業内容や取組事項について、インターネットを通して公開することにより、広く周知を図ります。このため、ホームページの充実を図ります。
- オ 県等が主催する環境イベント等へ出展を行い、広く県民に流域下水道施設の仕組みやその役割、意義などを周知します。
- カ 北部処理区及び松阪処理区並びに宮川処理区における自由広場等の一部を地域住民の活動施設として有効利用を図ることにより、地域との交流を図ります。

(4) 調査、研究、研修事業

- ア 県及び市町の下水道行政を支援するため、下水道の専門知識及び技術などの研修を行い、県や市町の下水道担当職員を育成することにより、下水道行政における県民へのサービス向上を図ります。
- イ 下水道の維持管理に必要な技術を習得するための研修に参加します。
- ウ 先進的な公社等の事例や民間を含めた維持管理技術の調査、研究を行います。

(5) 下水道技術者の養成及び技術的業務の協力事業

下水道排水設備工事責任技術者の資格認定にかかる業務を下記のとおり行う予定です。

- ア 下水道排水設備工事責任技術者更新講習（受講予定者：1,650名）
 - 平成27年10月 8日（伊勢市生涯学習センター）：南勢地区対象者
 - 平成27年10月23日（四日市市文化会館）：北勢地区対象者
 - 平成27年11月10日（三重県総合文化センター）：中勢地区対象者
- イ 下水道排水設備工事責任技術者認定試験（受験予定者：60名）
 - 平成27年11月25日（三重県総合文化センター）

第2節 平成27年度収支予算

平成27年度収支予算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	平成27年度	平成26年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	184	184	0
基本財産受取利息	184	184	0
② 特定資産運用益	1	1	0
特定資産受取利息	1	1	0
③ 事業収益	4,353,392	4,288,448	64,944
流域下水道施設指定管理業務受託収益	4,340,732	4,281,398	59,334
流域下水道維持管理業務	4,314,647	4,255,778	58,869
普及啓発事業	808	808	0
普及啓発施設維持管理業務	25,277	24,812	465
排水設備責任技術者認定事業収益	12,660	7,050	5,610
④ 雑収益	22	22	0
受取利息	21	21	0
雑収益	1	1	0
経常収益計	4,353,599	4,288,655	64,944
(2) 経常費用			
① 事業費	4,337,998	4,279,934	58,064
流域下水道施設指定管理業務受託費用	4,326,998	4,268,349	58,649
流域下水道維持管理業務	4,300,913	4,242,729	58,184
普及啓発業務	808	808	0
普及啓発施設維持管理業務	25,277	24,812	465
普及啓発事業費	267	260	7
研修事業費	166	107	59
排水設備責任技術者認定事業費	10,567	11,218	△ 651
② 管理費	13,734	13,049	685
管理費	13,734	13,049	685
経常費用計	4,351,732	4,292,983	58,749
当期経常増減額	1,867	△ 4,328	6,195
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,867	△ 4,328	6,195
一般正味財産期首残高	37,785	40,382	△ 2,597
一般正味財産期末残高	39,652	36,054	3,598
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	56,000	56,000	0
指定正味財産期末残高	56,000	56,000	0
III 正味財産期末残高	95,652	92,054	3,598

平成27年度収支予算書内訳表
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計						共通	小計	法人会計	内部取引 消去	合計
	受託事業			自主事業							
	流域下水道 維持管理業務受託事業	普及啓発受託事業	普及啓発施設 維持管理業務受託事業	普及啓発事業	研修事業	排水設備責任技術者 認定事業					
I 一般正味財産増減の部											
1 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	113	71	0	0	184	0		184
基本財産受取利息				113	71			184			184
特定資産運用益	0	0	0	1	0	0	0	1	0		1
特定資産受取利息				1				1			1
事業収益	4,300,913	808	25,277	0	0	12,660	0	4,339,658	13,734		4,353,392
流域下水道維持管理業務受託収益	4,300,913							4,300,913	13,734		4,314,647
普及啓発事業受託収益		808						808			808
普及啓発施設維持管理業務受託収益			25,277					25,277			25,277
排水設備責任技術者認定事業収益						12,660		12,660			12,660
雑収益	0	0	0	0	0	10	0	10	12		22
受取利息						10		10	11		21
雑収益								0	1		1
経常収益計	4,300,913	808	25,277	114	71	12,670	0	4,339,853	13,746		4,353,599
(2) 経常費用											
事業費	4,300,913	808	25,277	267	166	10,567	0	4,337,998			4,337,998
給料	115,113					1,492		116,605			116,605
職員手当	48,345					743		49,088			49,088
共済費	33,666					797		34,463			34,463
報償費	1,614							1,614			1,614
賃金	3,630					2,607		6,237			6,237
旅費	2,144			91	16	90		2,341			2,341
消耗品費	5,593	483	150	81	5	250		6,562			6,562
施設用消耗機材費	24,025							24,025			24,025
備品等修繕料	1,190		646			50		1,886			1,886

科 目	公益目的事業会計						共通	小計	法人会計	内部取引 消去	合計
	受託事業			自主事業							
	流域下水道 維持管理業務受託事業	普及啓発受託事業	普及啓発施設 維持管理業務受託事業	普及啓発事業	研修事業	排水設備責任技術者 認定事業					
修繕費	579,925							579,925			579,925
印刷製本費	1,555	305				1,377		3,237			3,237
燃料費	531					11		542			542
電力費	802,852							802,852			802,852
光熱水費	12,869		1,524					14,393			14,393
薬品費	287,271							287,271			287,271
通信運搬費	20,603	20	247	37	3	1,554		22,464			22,464
手数料	899		70	38		40		1,047			1,047
損害保険料	1,212		79			130		1,421			1,421
委託料	2,311,825		22,243			846		2,334,914			2,334,914
使用料及び賃借料	16,853		311	20	142	570		17,896			17,896
消耗備品費	1,090							1,090			1,090
負担金	3,234					10		3,244			3,244
公課費	16,793		7					16,800			16,800
賞与引当金繰入額	8,081							8,081			8,081
管理費									13,734		13,734
役員報酬									6,424		6,424
給料									2,219		2,219
職員手当									1,058		1,058
共済費									1,613		1,613
報償費									12		12
旅費									351		351
消耗品費									66		66
備品等修繕料									5		5
印刷製本費									10		10
燃料費									12		12
通信運搬費									61		61
手数料									33		33
委託料									13		13
使用料及び賃借料									296		296

科 目	公益目的事業会計						共通	小計	法人会計	内部取引 消去	合計
	受託事業			自主事業							
	流域下水道 維持管理業務受託事業	普及啓発受託事業	普及啓発施設 維持管理業務受託事業	普及啓発事業	研修事業	排水設備責任技術者 認定事業					
消耗備品費								10		10	
負担金								51		51	
公課費								612		612	
賞与引当金繰入額								888		888	
経常費用計	4,300,913	808	25,277	267	166	10,567	0	4,337,998	13,734	4,351,732	
当期経常増減額	0	0	0	△ 153	△ 95	2,103	0	1,855	12	1,867	
2 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	153	95	0	0	248	△ 248	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	2,103	0	2,103	△ 236	1,867	
一般正味財産期首残高	0	0	0	500	0	37,026	0	37,526	259	37,785	
一般正味財産期末残高	0	0	0	500	0	39,129	0	39,629	23	39,652	
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	56,000	56,000	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	56,000	56,000	
III 正味財産期末残高	0	0	0	500	0	39,129	0	39,629	56,023	95,652	

予定貸借対照表（平成28年3月31日 現在）

（単位：千円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	321,707	289,889	31,818
未収金	481,200	428,000	53,200
前払費用	443	443	0
流動資産合計	803,350	718,332	85,018
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	42,000	42,000	0
定期預金	14,000	14,000	0
基本財産合計	56,000	56,000	0
(2) 特定資産			
普及啓発引当資産	500	500	0
特定資産合計	500	500	0
固定資産合計	56,500	56,500	0
資産合計	859,850	774,832	85,018
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	753,300	669,200	84,100
預り金	1,929	3,494	△ 1,565
賞与引当金	8,969	8,353	616
流動負債合計	764,198	681,047	83,151
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	764,198	681,047	83,151
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基本金	56,000	56,000	0
指定正味財産合計	56,000	56,000	0
(うち基本財産への充当額)	(56,000)	(56,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(500)	(500)	(0)
正味財産合計	95,652	93,785	1,867
負債及び正味財産合計	859,850	774,832	85,018